
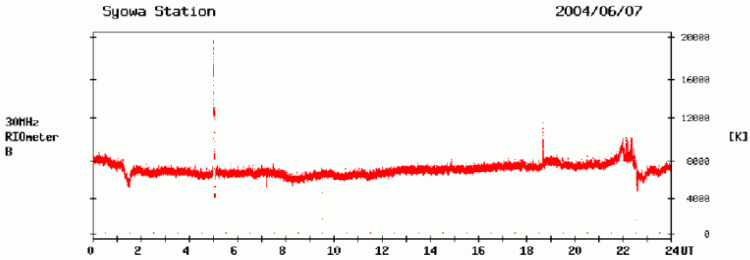


【タイトル】	リオメータ
【サブタイトル】	電離層吸収
【観測期間】	1967年2月8日 ~ 現在
【観測風景】	
【データ概要】	<p>1967年2月8日から昭和基地にて、30 MHzリオメータを用いて、宇宙電波雑音の電離層による吸収の観測が行われている。これまで10MHz, 20MHz, 40MHz, 45MHz あるいは 50MHzでの観測も行なわれたが、一貫して30MHzでの観測が継続されて来た。</p> <p>30MHzリオメータはバンド幅は7.5 kHzで、垂直方向に向けた5素子八木アンテナに接続されている。較正用ノイズダイオードから20000 K, 16000 K, 12000 K, 8000 K, 及び 4000 Kの熱雑音に対応する信号が、一日に一回加えられる。</p>
【データ名】	リオメータ
【観測点】	昭和基地(南緯69.00度, 東経39.58度)
【データ形態】	データレポート(JARE DATA REPORTS)でのプロットまたはデジタルデータ
【データ期間】	1967年2月8日 ~ 現在
【データ取得サンプリング】	連続記録、1Hz
【観測機器】	30 MHzリオメータ
【データ公開】	http://wdc.nict.go.jp/IONO/ANTARCTIC/rods/index.html
【データサンプル】	<p>(図タイトル) 2004年6月7日のリオメータデータ</p> 
【データ管理者(問合せ先)】	情報通信研究機構(久保田 実 / Minoru Kubota)
【e-mail】	mkubota@nict.go.jp
【関連機関】	国立極地研究所(National Institute of Polar Resesarch)
【主な研究成果】	JARE DATA REPORT (IONOSPHERE 1, 3, 4, 5, 7, 8, 11, 13, 15, 17, 19, 20, 22, 26, 27, 29, 31, 33, 35, 37, 39, 42, 44, 47, 49, 52, 54, 55, 58, 61, 63, 66, 67, 69, 71, 73, 74, 75, 76, 77)